社会福祉法人 福寿園 機関紙

愛と感謝と奉仕

ひまわり

第19回 福祉の絵手紙　最優秀賞受賞作品　細川 美恵 様

2 田原福祉グローバル専門学校 10月期日本語学科入学式
3 田原福寿園文化祭開催／第19回福祉の絵手紙受賞作品決定
4 秋の味覚祭開催・焼き芋販売
5 連載vol.57◉［記録に残したい記憶］　～貴重な体験を語り継ぐ～
6 ▸ 9 各施設トピックス
10 ▸ 11 福寿園ニュース
11 家族会だより
12 連載◉外国人介護士 紹介インタビュー
連載◉施設長・管理者のリレーコラム
連載◉福寿園オリジナル四コマまんが「新人介護士 フクちゃん」

166号
令和4年11月10日

田原福祉グローバル専門学校
10月期日本語学科入学式

10月3日、田原福祉グローバル専門学校日本語学科の10月期入学式が行われました。今回初となるインドネシア国籍の15人を含む22人が入学しました。介護福祉学科へ進学を目指す6か月コースへ4人、特定技能の資格で福祉の現場へ就職する1年6か月コースは18人で新たにスタートしました。

式典では、石川校長が「一生懸命に勉強し、ともに励まし合い、教え合い日本語をマスターしましょう」とエールを送り、山田理事長は「本日の初心と家族のことを忘れることなく、目標に向かって努力を積み重ねてください」と激励しました。来賓の山下田原市長からは「介護の学びをスタートし、介護の現場を助けてくれることを期待します」とご祝辞をいただきました。

また、入学生を代表してニ・コマン・アナンタ・ワフユニさんが「日本語を一生懸命に勉強し、日本で思い出もつくります」と誓いの言葉を述べました。

フィリピン、ベトナム、インドネシア3か国の留学生たちが、「日本に来てよかった」「たっぷくで学べてよかった」と思えるよう、そして、日本語と介護の知識や技術を学び、介護の即戦力として送り出せるよう教職員一同サポートしていきたいと思います。

祝辞を述べる山下田原市長

誓いの言葉

田原福寿園文化祭開催

福寿園をはぐくむ会主催の「福祉の心」絵手紙作品募集に対し、今年もやさしさあふれる思い思いの絵手紙が、田原市内18の小学校から3,000通近く寄せられました。さわやかな秋空が広がる10月2日、第29回福寿園文化祭が開催され、式典に於いて優秀作品の数々が表彰されました。田原市長様をはじめご来賓の皆様から、それぞれ各賞が贈呈され、壇上の子どもたちの自信に満ちあふれた誇らしげな表情がとても印象的でした。

屋外では飲食バザーを楽しみながら、福祉体験スタンプラリーの各ブースが賑わいました。車いす試乗や視覚障害者の気持ちを考えるアイマスク体験、観音様への参拝など、すべてのミッションをクリアし記念品を手にした子どもたち、親子で楽しんだ今日一日の体験を忘れることはないと思います。

ひまわりホールでは、佐藤朱実さんによるウクライナ支援チャリティコンサートが開催され、満席の場内は入所者とご家族の熱気に包まれました。佐藤さんのやさしく素敵な歌声に、歓声と拍手が鳴りやまず、「福寿園ゆめ音頭」では、職員も総踊りで会場が盛り上がりました。家族会と職員有志からの支援金の贈呈を行い、ウクライナのみなさんが、一日も早く穏やかな生活が取り戻せることを心から祈りました。

第19回福祉の絵手紙 受賞作品決定

第19回福祉の絵手紙作品募集では、639点もの心あたたまる作品をご応募いただき、ありがとうございました。多数の応募作品の中から厳選なる審査の結果、最優秀賞、理事長賞など、12点の作品が選ばれました。受賞作品は以下のとおりです。その他入選作品は、福寿園ホームページにてご覧いただけます。

また、今号より受賞作品を表紙に飾らせていただきます。今回は最優秀賞の細川美恵様の作品です。

《最優秀賞》細川 美恵 様

《理事長賞》
上野 美和 様

《優秀賞》
角森 玲子 様

《優秀賞》斎藤 文女 様

《優秀賞》天草 真麻 様

《優秀賞》柴田 道子 様

実りの秋、食欲の秋！

秋の味覚祭

各施設で秋の味覚祭が開催されました。大船渡産の秋刀魚に地元の新米、あい福の里のさつま芋など、季節の食材を使って各施設メニューに工夫を凝らし、秋の味覚をお腹いっぱい堪能されました。美味しいものを食べ、笑顔あふれる一日となりました。

美味しい焼き芋いかがですか？

お年寄りの定番のおやつといえば、「焼き芋」です。皆さんに楽しんでいただきたいと、東三河地区の各施設で焼き芋販売を始めました。焼き芋機が施設を順番に移動し、熱々の美味しい焼き芋を提供します。芋は種子島から取り寄せた「安納芋」と、あい福の里で真心込めて育てた「シルクスイート」の2種類です。レストランを併設している施設では、一般のお客様にも販売いたします。ぜひご賞味ください。（各施設での販売予定はそれぞれお問い合わせください）

ひまわりの街

夏祭り

昨今のアウトドアブームをキーワードに「トワイライトサマーキャンプ」をテーマとして夏祭りを開催しました。キャンプと言えば、焚火やキャンプファイヤーです。キャンプ場の雰囲気が出るように会場内を装飾しました。食品バザーにもアウトドアにふさわしいメニューを取り入れ、中でも施設長一押しのシシカバブ（串料理）は絶品でした。久しぶりの大行事に入居者も職員も笑顔があふれ、充実した楽しい時間を過ごすことができました。コロナ禍にあって制限の続く日々ですが、改めて介護施設としての行事の重要さを考えることができました。これからも、多くの笑顔と思い出が残るようにアイデアを出し合い、時代のニーズに合った行事を企画していきたいです。

ちた福寿園

絶景！真っ赤な絨毯（じゅうたん）

9月下旬、半田の矢勝川沿いの彼岸花を見に行きました。最近は、コロナ禍で外出する機会がなかったため、皆さんも久々のおでかけをとても楽しみにしていました。天気も良く、真っ赤な絨毯のように咲く満開の彼岸花に入居者の皆さんも職員もとても感動しました。記念に写真をパシャリッ!!素敵な思い出ができました。気持ちの良い秋の空気を楽しみつつ、次は『食欲の秋』を満喫すべく、イベントを計画中です。

花の里デイサービス

第2回 運動会開催！

秋といえば食欲の秋、そして運動の秋です。昨年に引き続き、今年も花の里デイサービスでは、曜日対抗での運動会を開催しました。

運動会の前の週から各競技の練習もあり、皆さんとても気合いが入ります。大玉転がしや玉入れなど、「玉はこう動かせばいいんじゃない？」と職員と利用者が一緒に考え、充実した練習ができました。

いざ本番となり、借物競争では明るく笑い声も交えながら、どの曜日も熱い歓声や応援が響き渡りました。

田原ゆの里デイサービス

押し花教室

皆さんは、工作はお好きですか？先日デイサービスで開催した押し花教室が大好評でした。台紙選びから楽しんでいただき、花の並べ方もそれぞれ個性的で、素敵な作品がたくさんできあがりました。自分のために作った方や奥さんにプレゼントされた方、いろいろな思いが込められています。中には、家の仏壇に飾ってくれた方もいました。この方は、ご家族と連絡をする時、いつも押し花教室の話を嬉しそうにしてくださっているそうです。今後も、皆さんの思い出に残るような企画をしていきます。

福寿園・ニュース

3年目研修会

福寿園では職員の段階的研修の一環として、毎年、入社3年目の職員を対象に3年目研修会を開催しています。しかし、コロナ禍により開催できないまま2年が経過してしまいました。そのため、コロナも落ち着いてきた状況を見ながら、6月（5年目職員）、9月（4年目職員）、10月（3年目職員）と3回に分けて、研修会を開催しました。入社時に新人研修を行ったホテルシーパレスリゾートを会場に同期が一堂に会し、それぞれの施設等で頑張っているお互いの同期職員との再会を喜び合いました。

研修内容は「明日のリーダーへ」と題し理事長からの講義を始め、認知症ケア、職場でのコミュニケーション、喜びの名刺交換等演習やグループワークを中心としたものでした。3年目というと、上司や後輩の間で大変な場面もあるでしょうし、多くの仕事を任される世代です。そのような参加者の労に報いるために、昼食はランチビュッフェ、午後の休憩はデザートバイキングを楽しんでいただきました。

新入職員第二次研修会

9月6日に新入職員第二次研修会が行われ、計73名が参加しました。この研修は4月に採用された新入職員のフォローアップを目的とした研修として、法人内合同で開催されておりますが、今年もコロナの感染予防を踏まえ、東三河、豊田、知多の各地区会場に分散し、主要な講義はオンラインで実施しました。

冒頭は理事長より「福寿園職員としての自覚」をテーマに、福寿園の歩み、法人が目指す方向性について講義を受けました。その後、人事考課制度、介護とコミュニケーション、多文化共生と外国人介護士受入の理解、認知症ケア、緊急時の対応、介護事故とリスクマネジメント等を多様なテーマに、すべて法人内幹部職員の講義による充実した内容の研修となりました。

就職から半年経過し、この研修を通じて、この職場が多くの人の幸せのために働くところであることを意識し、その幸せづくりに貢献できる職員に成長することを期待します。

第2回 たっぷく祭 田原福祉グローバル専門学校

10月8日に第2回たっぷく祭を開催しました。学生企画「Tappuku Global Collection 2022」では、学生の出身国の伝統文化や生活習慣を、劇や踊りで紹介しました。また、福祉文化活動の作品展示や、手浴体験コーナーなども設け、来場者の方にたっぷくの魅力を伝えることができました。コロナ禍前は、うどんや団子などの販売もし、子どもからお年寄りまで地域の皆さんに楽しんでいただけるよう、よりにぎやかに開催していましたが、近年は飲食を最小限に控え、関係者のみに公開しています。来年はこれまでのように一般公開し、多くの方に楽しんでいただけたらと思います。

連載 57

記録に残したい記憶
～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。

マレーシア旅行（前列左から2番目）

田原市の渥美地区にある小中山町で、8人兄弟の下から3番目の子供として私は生まれました。小中山のお寺の近くに住んでいたこともあり、山の合間から見える海の光景や、幼少の頃からのアサリ採りが今でも思い出されます。ちょうどこの秋の時期にはお祭りがあり、参詣の列を追いかけてお餅をもらったことも懐かしく思います。中山の尋常小学校へ通っていましたが、農家の両親も貧しく、よそのおばあさんに預けられて子供ながらに働いていました。その後は豊橋製糸工場に入り、そこでも一生懸命に働きました。自慢ではないですが、何かを作るにも道具がないような時代の中、物を見ただけで真似して作ることができたので、浜松からも人が来て、その子をくれと言われるほど色々なところから声を掛けられたこともありました。

ニュージーランド旅行

嫁いだ夫が折立町の人でしたので、渥美の土地へ戻ってきましたが、夫も兵隊へ行ってしまい、自分自身が仕事をするために船を買いました。戦争から夫は戻ってきましたが、その途中で体を悪くしてしまったので、男がやるような仕事でもなんでも自分でやり、海苔を作り、アサリを採って家計を支えました。船には櫂がなかったので、竹の棒を突いて動かしていましたが、あちこちの浜へ行ったり、引き潮の時にだけ現れる土の島へも漕ぎ出し、よくアサリを採りました。子供たちは私のことを、手先が器用でとても働き者だなんて言ってはくれますが、私の両親たちの方がよっぽど勤勉で働き者で、苦労が絶えなかったと思います。それでも、自分自身もやはり働いて、働いて、とにかく働きました。

この頃を思うと、子供たちも大人になり、家族が増え、仕事以外にも楽しいことを沢山させてもらいました。平成の初期には海外へなど家族旅行も行くことができました。昔は今のように形に残る思い出も残しにくい時代だったので、本当に良い時代になりました。今ではこんなおばあさんになってしまい、兄弟も皆亡くなってしまいましたが、この10月に無事に103歳を迎え、会いに来てくれた長女と長男に囲まれてお祝いもしてもらえて、大変ありがたいことです。残りの時間、ゆっくりとさせていただこうと思います。

絵葉書教室での作品

大島ヤス子
（特別養護老人ホーム 花の里）

プロフィール

生年月日：大正8年10月16日
性　格：真面目で話好き。
退職後の生活：シルバー大学や体操教室に参加し、市民会館の教室にも通って絵葉書や俳句などを楽しみました。

各施設 TOPICS トピックス

昭和の里

いいばしょ渡船　村祭り

清流・豊川の両岸を結ぶ『渡し船』の周辺の広場を利用し、水辺の活用を切り開く事業としての催しが開催されました。そこにパン等の販売に参加させていただきました。

当日は晴天に恵まれ、約200mにわたってワークショップやキッチンカーが出店し、子どもから年配の方まで、多くの方で賑わいました。渡し船にも行列ができており、昭和の里のパンも好評で、ほぼ完売となりました。

武豊ショートステイ

ハンバーガーの日

ショートステイでハンバーガーパーティを開催しました。

職員が店員に扮しておもてなしをしました。皆さんには事前にお知らせしていたため、当日のお昼ごはんの量を調整したりと楽しみにされていました。

ハンバーガーやポテト、ナゲットやパイに「美味しいね」「好きなんだよね」と舌鼓をうっていました。

「また食べたいね」という声と笑顔で溢れていました。また美味しい物を皆様と楽しむ機会を計画しようと思います。

ひまわり邸デイサービス

免疫力アップ！檜風呂

コロナ感染予防に気の抜けない日々ですが、デイサービスでは9月の敬老週間に檜風呂を行いました。浴槽を改装することはできませんので、檜ボールを浮かべて楽しんでいただきました。檜はフィトンチッドと呼ばれる成分が含まれており、免疫力の向上や自律神経を整える等、様々な効果があります。ご利用者の皆さんは、不思議なボールをつかんでは「これ、いい香りがするなあ」と癒しの時間を満喫していただいたようで、浴室の中が笑顔と楽しい声でいっぱいになりました。

くすのきの里

合同仮装運動会

10月10日くすのきホールで、くすのきの里デイサービスセンターとデイサービスセンター砂川による合同運動会を実施しました。当日は利用者・職員を合わせ、90名近い人数が参加し、ラジオ体操をしっかりした後、いざ競技へ。種目は3つ、「ランタン送り」「玉送り」、最後は運動会の定番「玉入れ」を実施。最後までもつれた結果、優勝はデイサービスセンター砂川の手に！

もう一つ、今回は運動会と併せてハロウィンも近いということで仮装も！職員の方が力が入り過ぎているのは内緒で。

ケアハウス きぬうら

もみじ灯篭作り

そろそろ秋を感じる季節になりましたね。秋の夜長を少しでもホッとしてもらいたくて、入居者さんと一緒にもみじ灯篭作りをしました。牛乳パックを灯篭に見立て、紅葉を挟んだ障子紙をくりぬいた牛乳パックに貼りました。「どう貼ればいい？」「もみじはどんな感じで貼る？」「こうしたらいいんじゃない！」と、入居者さん同士、あれこれ話しながら思い思いの作り方で、風情がある秋らしい灯篭が完成しました。

みなみ福寿園

心をこめて～ウェディングボードづくり～

「おじいちゃんがとてもかわいがっていた孫が結婚式をあげるんです」ご家族から一本の電話が入りました。「お孫さんへ祝福の想いを届けたい」…優しいまなざしでペンを取り、直筆メッセージを添えたボードを作製、ビデオレターでお祝いの言葉を届けることにしました。手作りのボードを握りしめ、はっきりとお孫さんの名前を呼び、噛みしめながらの「おめでとう」の一言。式を終えたお孫さんから「一生の宝物になりました」とお手紙が届きました。コロナ禍の中、ご家族とのつながりに関わることができた喜びを胸に、想いをこれからも繋いでいきます。

養護盲福寿園

どんなふうに見えるかな？

清田小学校にて3、4年生を対象にガイドヘルプ講習を行いました。視覚障害者キットを使用し、白内障や視野狭窄の見え方体験の他、アイマスクを使用したガイドヘルプ体験をしてもらいました。先日行われた福寿園の文化祭に参加してくれた児童もいたようで、「これ知ってるよ。こんな風に見えるんだよ」と周りのお友達と楽しく学んでいました。

視覚障害者の体験は、今回使用したキットやアイマスクがなくても、そっと目を閉じるだけで体験できます。ぜひ皆さんも目を閉じて、視覚障害者の生活を想像してみてください。

渥美福寿園

総合防災訓練

10月、毎年恒例の秋の総合防災訓練を行いました。火災を設定しての避難訓練で、利用者さんを安全な場所まで誘導しながら訓練を行いました。避難訓練後は、職員が実際に水消化器を使って消火活動を体験しました。水圧に圧倒されつつも、皆さん真剣に取り組んでいました。最後に訓練の振り返りをして、反省点が今後に活かせるようにしています。利用者さんが安心して生活ができるように、日々の訓練をしていきたいと思います。

東海福寿園

笑顔満開♥秋まつり

10月9日、待ちに待った秋まつりが開催されました。今年は3年ぶりにご家族も一緒に参加していただくことができました。テーマは「ハロウィン」。職員も入居者さんも、思い思いの衣装に身を包み、ハロウィン気分を盛り上げました。まつりの会場には、秋の味覚を使ったスイーツや昔懐かしい射的や魚釣りなどのゲームコーナー、また、初めて行事に参加されるご家族に施設のことを知ってもらおうと、東海福寿園の一年の軌跡を動画にし、上映しました。会場のあちらこちらで笑顔や笑い声があふれ、職員も久しぶりに家族と一緒に楽しいひと時を過ごしている入居者さんの笑顔をみて、とても幸せな一日となりました。

豊田福寿園

ワクワク買い物ツアー

待ちに待った買い物。コロナ禍で外出がなかなかできませんでしたが、特養入居者の方と一緒に豊田市のイオンに買い物に出かけました。皆さん若いころに買い物に出かけたイオンは5年前にリニューアルされ、新しいお店に興味津々でした。見るものすべてがどれも目新しく、皆さんが大好きなお寿司も食べて、楽しかったと大満足。「ずっと買いたかったものも買えてよかった」と笑顔が溢れた1日になりました。

田原福寿園南館

愛称はシーちゃん！

東三河地区施設初！公用車で超小型電気自動車C+pod（シーポッド）を8月より導入し、主に在宅職員が訪問業務で使用しています。一充電につき150㎞走行と、街乗りであれば十分走行できます。ガソリン要らずの、環境にも優しいエコな公用車。地域の皆さまからも「かわいい車だね」と声をかけてもらい、これからも田原福寿園の顔として走ります。

ケアハウス パシフィック

落ち葉拾いの達人

あふれる自然に囲まれた当施設は、安らぐ緑の風景を入居者の方々に提供しています。その木々も秋が深まるにつれ、舞い散る枯れ葉が増していきます。その勢いは、職員が掃き掃除をしても追いつかないほどです。

あっという間に降り積もる枯れ葉ですが、こまめに落ち葉掃きを手伝ってくださる入居者の方がいます。小柄な体で竹ぼうきを持ち、敷地内をくまなく掃き進みます。竹ぼうきを掃く慣れたリズミカルな音と、集められていく枯れ葉の乾いた音が聞こえるたびに、園内の美化が整っていきます。「きれいになると気持ちいいね」と話す笑顔に、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。

車椅子寄贈 田原福寿園

愛知県信用農業協同組合連合会様より、車椅子を4台ご寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

着物をありがとうございました

“機関紙ひまわり”にて活躍している外国人介護士の記事を見ていただき、「日本の文化を楽しんでほしい♪」との想いから、昭和の里ご利用者のご家族 玉﨑恵子様より、振袖の寄贈をしていただきました。フィリピン人介護士のリッシアンさんにモデルとなってもらい、素敵な振り袖姿を見ることができました。

ミンダナオ国際大学より感謝状の授与!

フィリピンのぞみプログラムの提携先であるミンダナオ国際大学（MKD）にて、大学創立20周年の記念式典が行われました。その際に2015年からともに日本語教育を行い、学生の育成・就労支援を行っていることが認められ、福寿園に感謝状をいただきました。

福寿園サンフラワーズ優勝!!

愛知県老人福祉施設協議会主催の第26回愛知県老人福祉施設職員野球大会が開催されました。前回は、全国社会福祉軟式野球大会に出場したため不参加、コロナの影響で2年間大会が中止だったこともあり、4年ぶりの出場となりました。愛知県内14チームが参加する中、チーム一丸となり試合に臨んだ結果、優勝することができました。最優秀選手賞には加藤恭一さん（田原福寿園南館）、ハッスル賞に木村幸香さん（豊田福寿園）が選ばれました。

家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

田原ゆの里 環境美化活動

10月16日に家族会環境美化活動として、園内の清掃活動を行いました。玄関周りから駐車場の草取り作業、窓拭きなど行っていただきました。手際よく進めてくださる家族会の皆さんのおかげで、園内がとても綺麗になりました。暑い中参加していただき、本当にありがとうございました。

花の里 草取り活動

家族会での環境美化活動は年に2回を予定しており、7月に続き、この10月にも活動日を設けさせていただきました。今回は22名ものご家族が参加してくださり、職員と一緒に敷地内の芝生や植栽付近に広がる雑草取りを行いました。途中に休憩もはさみつつ、約50分ほどの活動時間でしたが、普段より農作業をされているご家族の皆さんにとってはあっという間の作業であったようで、中庭がすっかりきれいになりました。ご協力ありがとうございました。

福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.2

新人介護士フクちゃん

楽人

連載 外国人介護士紹介インタビュー

福寿園では、現在103名(フィリピン人 70名、ベトナム人 31名、インドネシア人 2名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

Q なぜ日本に来ようと思いましたか?

A 高齢者の世話をすることが好きなので、日本の介護のやり方を学びたいと思ったからです。そして、日本の美しい場所に行きたかったからです。

Q 福寿園で働いてみてどうですか?

A 大変ですが、同僚の助けとサポートのおかげで、仕事をうまくこなすことができ、困ったことや分からないことがあればいつでも教えて助けてもらっています。

Q 日本に来て一番心に残る思い出は何ですか?

A スピーチコンテスト(外国人技能実習生習得技能五輪大会)に参加したことです。私は内気で人前で話すことに慣れていなかったけど、参加してから自信がつきました。

Q 好きな日本のお菓子は何ですか?

A どら焼きが好きです。甘くておいしいです。

Q 好きな日本語は何ですか?

A 「生きがい」です。疲れた時や問題があるときは、自分の生きがいを考えると喜びを感じ、前向きに一日を始めることができます。

Q 将来の夢は何ですか?

A 国家試験を合格して介護福祉士になりたいです。

Q 最後に一言お願いします。

A 夢があるときは、それをつかみ、決して離してはならない!

リブラドレズ マリークライン ゴンザガ
ニックネーム
マリー
東海福寿園
国籍:フィリピン

連載 施設長・管理者のリレーコラム

複合福祉施設
昭和の里
管理者 **古田 拓士**

9月17日、18日と、地元田原市のお祭りに参加しました。コロナ渦で2年間お祭りは行われていなかったのですが、今年は小学二年生のうちの娘も躍り子として参加し、3年ぶりにお神輿も出ました。娘もとても楽しかったようで、また踊り子を来年もやりたいと言っています。コロナ禍であっても、地域に育まれている事に感謝し、人の営みの大切さが分かりました。本当に、久しぶりにお祭り気分になりました。ワッショー!

次号は、みなみ福寿園 藤原施設長へバトンを渡します。

令和4年11月10日発行
■発　行／社会福祉法人 福寿園　愛知県田原市六連町神ノ釜9-3　☎0531-27-0008
■理事長／山田浩三
https://www.fukujuen.or.jp
ISO9001／14001認証取得　※ひまわりは再生紙を使用しています。

Instagram　facebook　You Tube